

# 消費者(大学生)と有機農業者とのパネルディスカッション

- 「みどりの食料システム戦略」における「2050年までに有機農業の面積割合を25%（100万ha）に拡大」の目標実現には、生産現場での取組のほか、それを支える消費者の理解や協力が不可欠であることから、将来社会を担っていく若い世代の消費者と有機農業者とのパネルディスカッションを実施。

## ○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

## ○ きっかけ・背景、課題の把握

将来社会を担っていく若い世代を対象に、正しい知識に基づいた有機農業を理解してもらうことを目的に消費者庁新未来創造戦略本部と連携し、エシカル消費の観点で消費者（大学生）と有機農業者とのパネルディスカッションを立案。

また、「みどりの食料システム戦略」については、徳島市立図書館においてパネルを展示し、幅広く消費者に周知することを計画。

## ○ 取組の内容

- 1 消費者（大学生）と有機農業者とのパネルディスカッションを開催  
消費者庁新未来創造戦略本部と連携し「有機農業」について考えてみませんか？～つくる人の思い、食べる人の思い～」をテーマにパネルディスカッションを実施。
- 2 徳島市立図書館でのパネル展示  
令和6年12月2日～13日の間、有機農業及び有機農産物に関するパネル展示を実施するとともに、パンフレット等を提供。図書館の御協力により、有機農業に関する書籍展示コーナーも設置。

## ○ 効果・成果、今後の方向性

消費者（大学生）には、有機農業者とのパネルディスカッションを通じて、有機農産物を購入することもエシカル消費であることを認識し、有機農業を支える一助になることを理解してもらえた。

今後は、幅広く消費者に有機農業への理解を促す機会を設ける予定。



パネルディスカッションの様子



徳島市立図書館での  
パネル展示の様子

## 体制図

